

麻しん風しん混合ワクチン (MRワクチン)を受けましょう!

麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)とは・・・

麻しんワクチンと風しんワクチンがいっしょになったワクチンです。

1歳の誕生日を
迎えたら早めに

就学前にも
忘れずに

麻しん風しん混合ワクチン
(MRワクチン)で予防できる病気

- 麻しん(はしか)
- 風しん



麻疹（はしか）ってどんな病気？



麻疹は、麻疹ウイルスによって起こる感染症です。非常に感染しやすい病気で、免疫を持たない人が感染すると、ほぼ100%発症します。

2007年から2008年にかけて麻疹の大流行が起こりました。子どもの病気と考えられていた麻疹が10～20歳代の若者で流行し、高校や大学が休校になりました。麻疹は子どもだけの病気ではなく、大人でも注意が必要です。

主な症状

- 発熱（最初3～4日間は38℃前後、一時下がった後、再び39～40℃の高熱）
- せき ● 鼻水 ● めやに ● 発疹 など

【合併症】

気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎などを合併することがあります。

先進国であっても、麻疹にかかった人は1,000人に1人の割合で死亡する可能性があります。



妊婦が麻疹にかかると・・・

麻疹は感染力が強い病気です。免疫を持たない妊婦が麻疹にかかると流産や早産になることがあります。妊娠中は麻疹風しん混合ワクチン、麻疹ワクチンの接種はできないため、周りの人がワクチンを接種して妊婦を守りましょう。

風しんってどんな病気？

風しんは、発熱、発疹、リンパ節腫脹などを特徴とするウイルス性の発疹症です。

子どもの場合は、数日で治ってしまう比較的軽い病気ですが、すべての症状がそろわないことがよくあります。

関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などを合併することもあります。また、大人になってからかかると重症になるため、注意が必要です。

麻しん風しん混合(MR)ワクチンを妊婦に接種することはできません(接種不相当者)。
生まれてくる子どもを先天性風しん症候群から守るためには、妊娠を希望する女性(妊娠期間中を除く)だけでなく、その家族や周囲の人々(職場や学校など)がMRワクチンを接種し、風しんに対する免疫を持つことが大切です。



妊婦が風しんにかかると・・・

特に妊娠20週頃までの女性が風しんウイルスに感染すると、胎児も風しんウイルスに感染し、目、耳、心臓などに先天性の病気をもつ可能性があります。この病気を先天性風しん症候群といいます。

麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)を受ける時期は？

第1期と第2期に1回ずつ、合計2回接種します。

1期 生後12~24ヵ月未満

2期 5~7歳未満で小学校就学前の1年間
(通常、幼稚園・保育所の最年長児)



麻しんや風しんは

免疫がなければ誰もがかかります。

1歳になったら出来るだけ早めに

予防接種を受けましょう！

	出生時	12ヵ月	24ヵ月	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳
MRワクチン スケジュール		第1期 1回					第2期 年中 1回 (年長) 小1		

MRワクチン
予約日

第1期

年 月 日

第2期

年 月 日

情報提供：神奈川県衛生研究所 所長 **多屋 馨子** 先生